

5つの基本目標の事業実現に向けた取組

5つの基本目標と、その基本施策に応じた各事業の一部を紹介します。

基本目標 1

やってみたい仕事広がるまち

活力ある農林水産業の振興 | 基本施策 ①

新 市農業公社の研修用ハウスの整備 1億882万円

農業の中核的な担い手となる新規就農者や農業後継者の確保・育成を図るため、市農業公社の研修用ハウスを整備し、研修受け入れ体制の充実を図ります。【農政課】



新 地方卸売市場を活用した販路拡大 1,942万円

販路拡大に向けた市場調査・営業活動や本市を中心とした農林水産物及び加工品の物流・商流の構築を目的として、地方卸売市場に地域商社業務を委託します。【農政課】

新 第13回全国和牛能力共進会強化対策事業 226万円

令和9年度に北海道で開催される「第13回全国和牛能力共進会」に向け、鹿児島県の代表牛として本市から多くの牛が選抜されるよう、対象牛の購買支援などの出品対策を行います。【畜産課】

基本目標 2

交流で賑わうまち

地域資源を生かした観光の推進 | 基本施策 ①

新 戦後80年特別企画展の一部展示 257万円

戦後80年事業で収集した貴重な資料の一部展示などを行うことにより、本市に残る戦争遺跡や太平洋戦争との関わり等について情報発信を行うとともに、本市ならではの平和ツーリズムを推進します。【ふるさとPR課】

拡 創作舞台「野里国民学校」の公演 593万円

戦争の悲惨さや命の大切さ、平和や人権について考える機会を提供するため、創作舞台「野里国民学校」を公演します。【生涯学習課】



商工業の振興と雇用の促進 | 基本施策 ②

継 積極的な企業誘致活動の展開 666万円

県農業開発総合センター大隅支店跡地を産業用地として活用した企業誘致に取り組むなど、企業の進出や既存立地企業の事業拡大等の促進による、魅力的な雇用の場の拡大と地域経済の活性化を図ります。【商工振興課】



継 高校生による地元企業プロモーション 220万円

市内の高校生が専門事業者のサポートのもと、市内企業のPR動画を制作し発信することで、地元企業の認知度を高め、地元就職への理解を深める取り組みを実施します。【商工振興課】

スポーツによる交流の推進 | 基本施策 ②

拡 スポーツ施設整備事業 5,291万円

鹿屋市武道館の剣道場の床修繕や柔道場の畳の更新など、スポーツ施設の設備整備や修繕等を実施します。【市民スポーツ課】



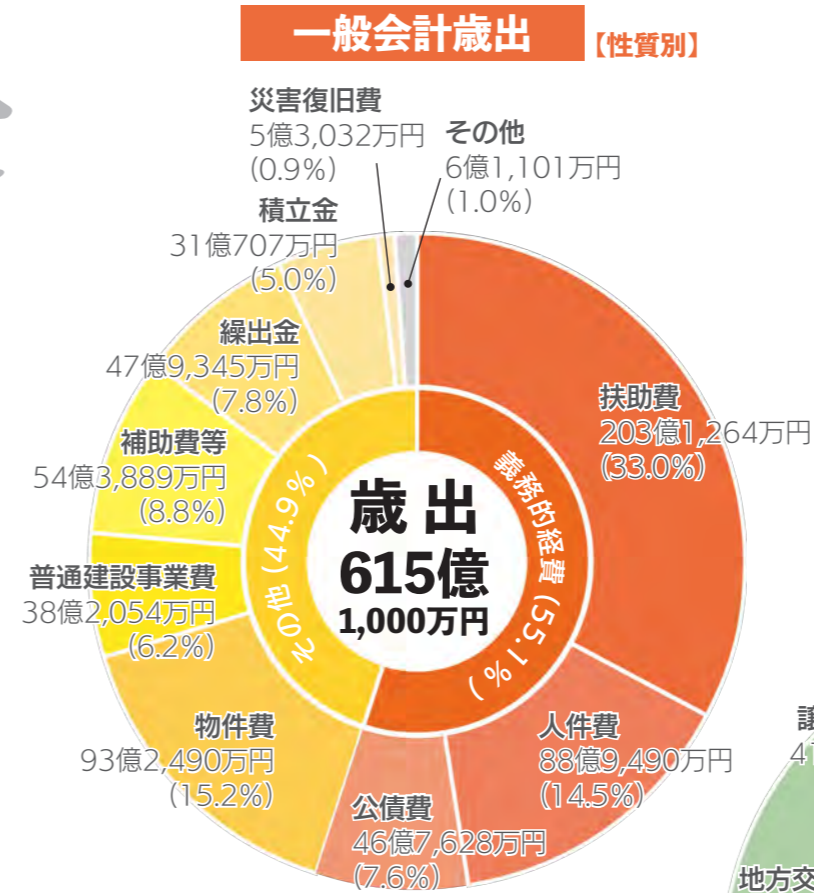
移住・定住の推進 | 基本施策 ③

継 移住・定住促進支援金 1,410万円

移住・定住を促進するため、県外からの移住・就業者に支援金を支給します。【地域活力推進課】

予算の概要

総合計画の5つの基本目標に沿った施策を推進する、予算の概要について紹介します。



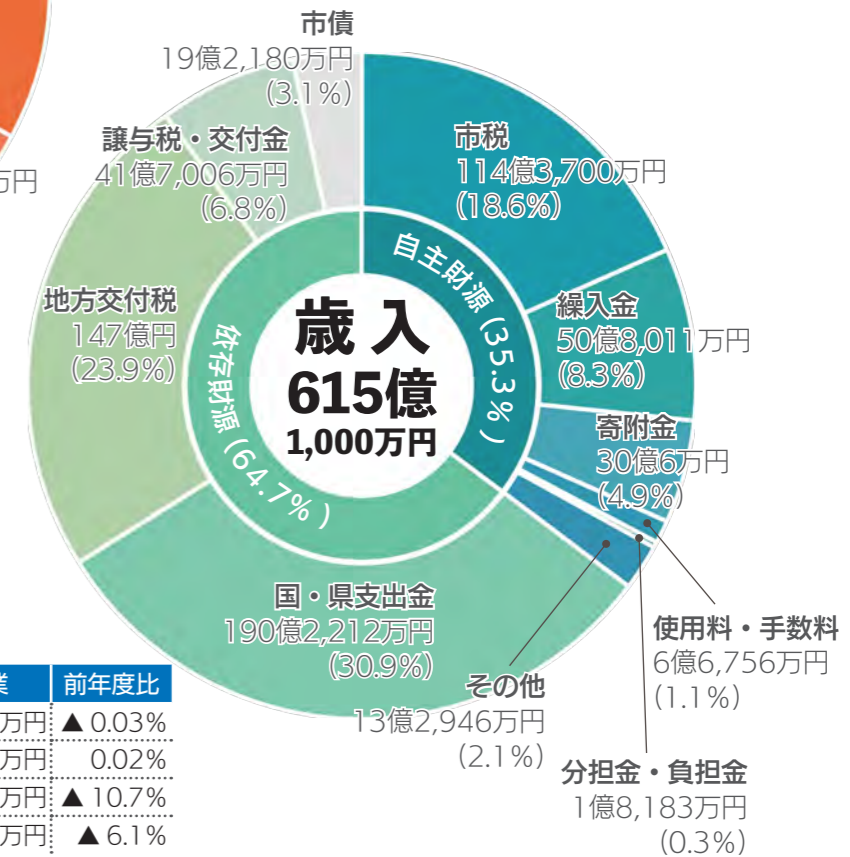
●特別会計

特別会計区分	予算額	前年度比
国民健康保険事業	107億3,400万円	▲2.9%
後期高齢者医療	17億8,700万円	5.9%
介護保険事業	113億8,800万円	▲2.2%

●公営企業会計

区分	水道事業	前年度比	下水道事業	前年度比
収益的収入	17億1,778万円	1.2%	9億1,572万円	▲0.03%
収益的支出	16億7,466万円	2.1%	8億6,075万円	0.02%
資本的収入	3,054万円	▲14.4%	3億9,245万円	▲10.7%
資本的支出	11億2,689万円	▲6.3%	7億776万円	▲6.1%

一般会計歳入



骨格予算として編成した結果、令和8年度一般会計当初予算の総額は、前年度当初予算額と比べ4.9%減の615億1千万円となりました。

歳入予算については、地方交付税や県支出金が増加するとともに、市税は給与所得の増による個人市民税の増額等を見込み0.3%、約3千3百万円の増となりました。自主財源比率は、市税の増などにより、前年度比0.2ポイント増の35.3%となっています。

歳出予算の性質別では、「幼稚園・保育所等給付費」や「障害福祉サービス等給付費」の増により、扶助費が前年度比で約6億7千万円の増となり、人件費、扶助費及び公債費の合計である義務的経費は前年度比で約11億5千万円の増となりました。また、普通建設事業費については、学校施設長寿命計画に基づく小・中学校施設大規模改造事業が減となったほか、北部学校給食センターほか4施設への太陽光発電設備設置工事や、平和市営住宅や文化会館の改修、野里運動施設の整備などの事業完了により、約34億3千万円の減となっています。